

# 小学三年国語

小学三年国語	「漢字の読み	①	.....	1
小学三年国語	「漢字の読み	②	.....	2
小学三年国語	「漢字の読み	③	.....	3
小学三年国語	「漢字の書き	①	.....	4
小学三年国語	「漢字の書き	②	.....	5
小学三年国語	「漢字の書き	③	.....	6
小学三年国語	「こそあど言葉	①	.....	7
小学三年国語	「こそあど言葉	②	.....	8
小学三年国語	「修飾語	①	.....	9
小学三年国語	「修飾語	②	.....	10
小学三年国語	「修飾語	③	.....	11
小学三年国語	「国語辞典	①	.....	12
小学三年国語	「国語辞典	②	.....	13
小学三年国語	「国語辞典	③	.....	14
小学三年国語	「反対の意味の言葉	①	.....	15
小学三年国語	「反対の意味の言葉	②	.....	16
小学三年国語	「反対の意味の言葉	③	.....	17
小学三年国語	「物語文の読解	①	.....	18
小学三年国語	「物語文の読解	②	.....	19
小学三年国語	「物語文の読解	③	.....	20
小学三年国語	「物語文の読解	④	.....	21
小学三年国語	「説明文の読解	①	.....	22
小学三年国語	「説明文の読解	②	.....	23
小学三年国語	「説明文の読解	③	.....	24
小学三年国語	「説明文の読解	④	.....	25
小学三年国語	「説明文の読解	⑤	.....	26
小学三年国語	「ていねいな文	①	.....	27
小学三年国語	「ていねいな文	②	.....	28

月
日

# 小学三年国語 「漢字の読み」①

年 組 名前

教科書の後ろにのっている漢字の中で、読み方が二つ以上あるものを中心に、読む練習をしておきましょう。

ポイント

★下・・・上下げに動く／橋したの下／川下かわしも／気温きんが下さがる／下り坂くだ

リユックを下おろす

★子・・・調子しがいい／様子ようす／売り子うりこ

★生・・・四年生せいのね／たん生たんじょう日にち／生いきる／生うまれる／草くさが生はえる

生なまたまご

★着・・・とう着ちやくする／服ふくを着きる／学校がっこうに着つく

## ★問題 1

次の——線の漢字を、ひらがなに直して書きましょう。

- ① ごはんを電でん子しレンジであたためる。
- ② 友だちから手紙てがみが着きいた。
- ③ 長なが生せいきしたい。
- ④ ふだんの生せい活かつの中で考えた。
- ⑤ 木の上うへから見み下くだろす。

⑤	④	③	②	①
(ろす)		(き)	(いた)	

月
日

# 小学三年国語

## 「漢字の読み」②

年 組 名前

No. 2

### ★問題2

次の——線の漢字を、ひらがなに直して書きましょう。

- ① 植物のたねをまく。
- ② 作物を育てる。
- ③ 物事を進める。
- ④ 一分間スピーチをする。
- ⑤ 半分に分ける。

⑤	④	③	②	①

### ★問題3

次の——線の漢字を、ひらがなに直して書きましょう。

- ① 犬の名前が、その本の題名になった。
- ② 大工さんが、工事している。
- ③ 登場人物の行動は、三行目に書かれている。
- ④ 声の大きさに気をつけることも大切だ。
- ⑤ 交代の時間だから、代わろう。

⑤	④	③	②	①



月
日

小学三年国語

「漢字の読み」③

年 組 名前

☆チャレンジ問題

次の漢字の二通りの読みかたを、ひらがなに直して書きましょう。

① 人気	( )	( )	( )
② 二月	( )	( )	( )
③ 町中	( )	( )	( )
④ 一行	( )	( )	( )
⑤ 草原	( )	( )	( )
⑥ 市場	( )	( )	( )
⑦ 見物	( )	( )	( )
⑧ 目下	( )	( )	( )



月
日

# 小学三年国語 「漢字の書き」①

年 組 名前

No. 4

ことばの意味をおぼえましょう。

「整理」ととのえて、きちんとすること

いらないものをしょぶんすること

それぞれの漢字の意味がわかっていると、じゆく語の意味を思いうかべることができたり、じゆく語の意味から、使う漢字を思いうかべることができたりします。

### ポイント

「整」は訓読みで『ととのーえる』

「ととのえる」とは『きちんとする・まとめる』といった意味です。

「理」は訓読みで『ことわり』

「ことわり」とは『どうり・わけ』といった意味です。



「とめ」や「はね」に注意しながらなぞりましょう。

整 整 整 整 整 整

### ☆問題1

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。「せい」は「整」でない漢字を書くものもあるので、注意しましょう。

- ① 家をたてるためにせいちを行った。
- ② 校庭にせいれつしましょう。
- ③ せいしょうねんサッカー大会に出場する。
- ④ 地球外のせいめいは、まだ見つかっていません。
- ⑤ こしをいためたので、せいけい外科<sup>げ</sup>でみてもらった。

⑤	④	③	②	①

月
日

# 小学三年国語

## 「漢字の書き」②

年 組 名前

No. 5

### ★問題2

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。

- ① 家族でどぎんにいってきました。
- ② これがゆうめいなスカイツリーです。
- ③ ふでばこをかたづける。
- ④ がいこくでつくられたせい品です。
- ⑤ ちこくしたりゆうを先生に伝える。

### ★問題3

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。

- ① えい画をみてかんどうした。
- ② デジタルテレビのほうそうが始まった。
- ③ はんたいの人が、さんせいの人よりも多い。
- ④ 帰りがおそいので、しんばいした。
- ⑤ おかしをびようどうに、ニこずつくばった。

まちがえた漢字は、正かを見ながら正しいに五回書きましょう。

⑤	④	③	②	①

⑤	④	③	②	①

月
日

# 小学三年国語 「漢字の書き」③

年 組 名前

## ☆チャレンジ問題

次の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。また、その意味を書いた中の（ ）に、あてはまる訓読みを、ひらがなで書きましょう。

例 これは南きよくのひょうごんの写真です。

漢字	氷山	意味	(こおり)のやま
----	----	----	----------

① しゅうじの道具を用意する。

漢字		意味	じを( )うこと
----	--	----	----------

② 川のたいがんでたをふっている人が見える。

漢字		意味	むかいがわの( )
----	--	----	-----------

③ このバスは回送で、じょうしゃできない。

漢字		意味	くるまに( )ること
----	--	----	------------

④ しょちゅうおみまいもうし上げます。

漢字		意味	( )いなか
----	--	----	--------

⑤ ようもうのセーターを着ているのであたたかい。

漢字		意味	( )のけ
----	--	----	-------

月
日

# 小学三年国語 「こそあど言葉」①

年 組 名前

「こそあど言葉」は、「もの」「人」「場所」などを指ししめすはたらきをします。

様子	方向	場所	ものごと	
こう こんな	こちら (こっち)	ここ	この これ	こ
そう そんな	そちら (そっち)	そこ	その それ	そ
ああ あんな	あちら (あっち)	あそこ	あの あれ	あ
どう どんな	どちら (どっち)	どこ	どの どれ	ど

ポイント

「こそあど言葉」は、次のように使い分けます。  
 こ・・・話し手の近くにあるものを指す場合。  
 そ・・・聞き手の近くにあるものを指す場合。  
 あ・・・話し手からも聞き手からも遠くにあるものを指す場合。  
 ど・・・指し示すものがはっきりしない場合。

★問題1

次の文の( )に当てはまる「こそあど言葉」を、あとのア～エの中から一つずつえらび、その記号を書きましよう。

- ① わたしが手に持っている( )を見てください。
- ② あなたが手に持っている( )を見せてください。

ア どれ    イ それ    ウ これ    エ あれ

②	①



月	日
---	---

# 小学三年国語 「こそあど言葉」②

年 組 名前

No. 8

## ★問題2

次の文の（ ）に当てはまる「こそあど言葉」を、あとのア～エの中から一つずつえらび、その記号を書きましよう。

- ① 遠くに見える（ ）山が、有名な富士山です。
  - ② （ ）ケーキを食べたいか、一つえらんでください。
  - ③ わたしのとなりにいる（ ）人は、ドイツから来ました。
  - ④ あなたの右にある（ ）おさらをとってくださいますか。
- ア この イ その ウ どの エ あの

④	③	②	①

## ★問題3

次の文の（ ）に当てはまる「こそあど言葉」を書きましよう。

- ① 道にまよって（ ）にいるかわからなくなった。
- ② かっている犬がいなくなって、（ ）こちらさがし歩いた。
- ③ （ ）寒い所にはいられないから、出よう。
- ④ すぐにおかえに行くから、（ ）で待っていて。
- ⑤ 五分早く出かけよう。（ ）すれば間に合う。

⑤	④	③	②	①

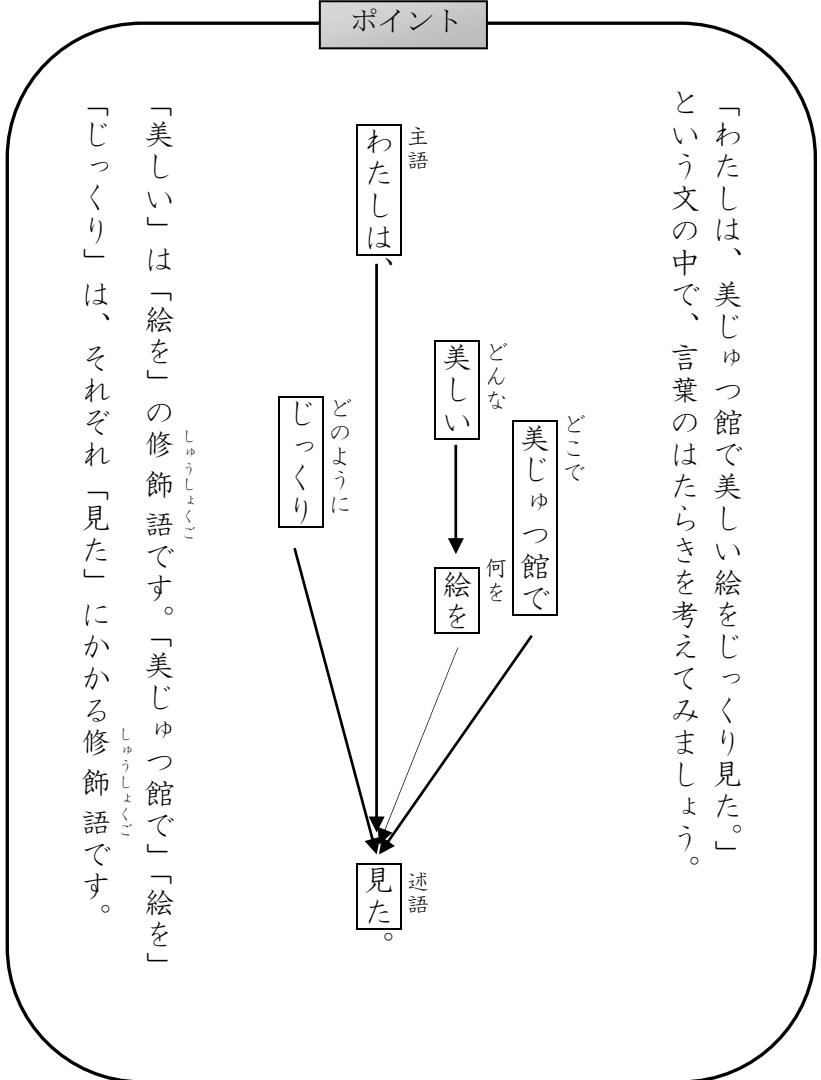


# 小学三年国語 「修飾語」①

年 組 名前

「修飾」とは、「かざること」を意味します。  
「修飾語」は、後にくる言葉をくわしく説明するはたらきをします。

「わたしは、美じゅつ館で美しい絵をじっくり見た。」  
という文の中で、言葉のはたらきを考えてみましょう。



## ☆問題1

次の文で、——の言葉をくわしくしている言葉（修飾語）を、あとのア～ウの中から一つずつえらび、その記号を書きましよう。

- ① わたしは、急な坂を上りました。  
ア わたしは    イ 急な    ウ 上りました
- ② きれいな魚が、すいすい泳ぐ。  
ア きれいな    イ 魚が    ウ すいすい

①

②

# 小学三年国語

## 「修飾語」②

年 組 名前

### ★問題2

次の文で、——線の言葉をくわしくしている言葉（修飾語）を、あとのア～エの中から一つずつえらび、その記号を書きましよう。

- ① わたしは、音楽室で、リコーダーの練習をしました。  
 ア わたしは イ 音楽室で ウ リコーダーの エ しました
- ② わたしのいとこは、赤いやねの家に住んでいます。  
 ア わたしの イ いとこは ウ 赤い エ 家に

①	②

### ★問題3

次の文で、——線の言葉をくわしくしている言葉（修飾語）を、あとのア～エの中から一つずつえらび、その記号を書きましよう。

- ① わたしは、先週の土曜日に、動物園に行きました。  
 ア わたしは イ 先週の ウ 土曜日に エ 動物園に
- ② ひっこした友だちが、ひさしぶりに遊びに来た。  
 ア ひっこした イ 友だちが ウ ひさしぶりに エ 遊びに

①	②

### ★問題4

次の文で、——線の言葉がかかる（修飾している）言葉を、あとのア～エの中から一つずつえらび、その記号を書きましよう。

- ① みんなは、教室のすみずみまで、きれいにそうじをした。  
 ア みんなは イ 教室の  
 ウ すみずみまで エ そうじをした
- ② わたしは、図書館でエジソンの伝記を借りた。  
 ア わたしは イ エジソンの  
 ウ 伝記を エ 借りた

①

②

/ 6
-----

月 日

No. 11

## 小学三年国語

### 「修飾語」

③

年 組 名前

#### ☆チャレンジ問題

次の文の中で、それぞれの言葉はどのようなはたらきをしていますか。主語ならば「主」、述語ならば「述」、修飾語ならば「修」と書き、修飾語の場合は、かかる（修飾している）言葉も書きましょう。

例 来週、運動会があります。

来週（修） あります（主） 運動会が（主）

あります（述）

① さくらの花がきれいにさきました。

さくらの（主） 花が（主）

きれいに（述） さきました（主）



② ぼくらの学校は、この坂の上だ。

ぼくらの（主） 学校は（主）

この（主） 坂の（主）

上だ（主）

月
日

# 小学三年国語 「国語辞典」①

年 組 名前

No. 12

国語辞典の見出し語のならば方をおぼえましょう。

国語辞典の見出し語は、

★ 五十音順にならんでいます。一字目が同じ場合は、二字目をくらべます。

★ 清音せい濁音だく濁音だくの順にならんでいます。

例 はん（半） ↓ばん（番） ↓パン

★ のばす音は、「あ・い・う・え・お」におきかえられ、ならんでいます。

例 カードカドドかあど シールシルルしいる スープスププすうぶ  
ケーキケキキけえき トーストトストストとおすと

## ポイント1

### ★問題1

国語辞典で、先に出てくる言葉を下の欄に書きましょう。

① 「あした」と「きょう」

② 「きょう」と「きのう」

③ 「じょうぎ」と「しょうぎ」

④ 「びん」と「びん」

⑤ 「ハーモニカ」と「ハイキング」

⑤	④	③	②	①



月
日

# 小学三年国語 「国語辞典」②

年 組 名前

No. 13

漢字の読み方に注意しながら、国語辞典の見出し語のならば方を考えましょう。

### ポイント2

次の漢字の読み方で、一線のところが「う」でなく「お」であることに注意します。

十（とお） 大（おお）きい 遠（とお）い 多（おお）い  
通（とお）る 氷（こおり）

### ★問題2

国語辞典で、次の言葉はどちらが先に出ていますか。

- ① 「当番」と「遠回り」
- ② 「大きい」と「王様」
- ③ 「道路」と「通り道」
- ④ 「氷」と「コーラス」
- ⑤ 「トースト」と「遠回り」

⑤	④	③	②	①



月 日

小学三年国語 「国語辞典」③

年 組 名前

No. 14

★問題3

読み方に注意しながら、国語辞典の見出しの言葉と同じ順にならんでいるものを、次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましよう。

- |   |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|
| ア | 登校  | ドーム | 通る  |
| イ | 登校  | 通る  | ドーム |
| ウ | ドーム | 登校  | 通る  |
| エ | ドーム | 通る  | 登校  |

答え

□



★問題4

読み方に注意しながら、国語辞典の見出しの言葉と同じ順にならんでいるものを、次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましよう。

- |   |        |        |        |
|---|--------|--------|--------|
| ア | オーケストラ | 王様     | 多い     |
| イ | 多い     | オーケストラ | 王様     |
| ウ | 王様     | 多い     | オーケストラ |
| エ | 多い     | 王様     | オーケストラ |

答え

□

月
日

# 小学三年国語 「反対の意味の言葉」①

年 組 名前

反対の意味の言葉とは、「上」と「下」のように、なかまの言葉の中で、反対の意味をもっている言葉のことです。

### ポイント1

- ★ 反対の意味の言葉は、次のように分けて考えることができます。
- ★ 方向や時間などが反対      例 上↑↓下
- ★ 人や物事の様子やせいしつが反対      例 大きい↑↓小さい
- ★ 人や物事の動きが反対      例 出る↑↓入る

### ★問題1

次の①～⑥の言葉と反対の意味の言葉を書きましよう。

★ 方向や時間などが反対

① 右

② きのう

②	①

★ 人や物事の様子やせいしつが反対

③ 暑い

④ 強い

④	③

★ 人や物事の動きが反対

⑤ すてる

⑤	⑥

⑥ 着る



月
日

# 小学三年国語 「反対の意味の言葉」②

年 組 名前

No. 16

## ポイント2

言葉の意味が二つ以上あるときは、文の中でどのような意味で使われているかに注意して、反対の意味の言葉を考えましょう。

例 大事な試合でやぶれる。

この「やぶれる」は、「こわれる」という意味ではなく、「負ける」という意味なので、反対の意味の言葉は、「勝つ」です。

## ★問題2

次の——線の言葉と反対の意味の言葉を書きましよう。

- ① 電話を受ける。
- ② ねだんが高い。
- ③ 走るのがおそい。
- ④ 日がのぼる。
- ⑤ くつをぬぐ。

⑤	④	③	②	①



月
日

小学三年国語 「反対の意味の言葉」 ③

年 組 名前

No. 17

★問題3

次の中で、反対の意味の言葉の組み合わせとして正しいものを五つえらび、その記号を書きましよう。

- ア 長い↑↓短い
- イ 多い↑↓小さい
- ウ 遠い↑↓近い
- エ 東↑↓西
- オ 守る↑↓あらそう
- カ 古い↑↓きれい
- キ せまい↑↓広い
- ク おいしい↑↓苦い
- ケ よい↑↓悪い

答え

★問題4

次の——線の言葉と反対の意味の言葉を書きましよう。

- ① 紙を重ねてあつくする。
- ② ぼうしをぬぐ。
- ③ へやが明るくなつた。
- ④ この物体は、水にしずむ。
- ⑤ テストの問題がやさしい。

⑤	④	③	②	①



月  
日

## 小学三年国語

## 「物語文の読解

①」

No. 18

年 組 名前

次の文章を読みましよう。

① 野原にはもう春がきていました。けれども、山にはまだ春はきていませんでした。山のいただきには、雪も白くのこっていました。

山のおくには、親子の鹿しかがすんでいました。ぼうやの鹿しかは、生まれてまだ一年にならないので、春とはどんなものか知りませんでした。

「お父ちゃん、春ってどんなもの。」

「春には花がさくのさ。」

「お母ちゃん、花ってどんなもの。」

「花ってね、きれいなものよ。」

「ふうん。」

けれど、ぼうやの鹿しかは、花を見たこともないので、花とはどんなものだから、春とはどんなものだから、よくわかりませんでした。

ある日、ぼうやの鹿しかはひとりで山のなかを遊んで歩きまわりました。すると、遠くのほうから、

② 「ぼうん。」

とやわらかな音が聞こえてきました。

「なんの音だろう。」

するとまた、



月  
日

No. 19

## 小学三年国語 「物語文の読解」②

年 組 名前

② 「ぼおん。」

ぼうやの鹿は、びんと耳をたてて聞いていました。やがて、その音にさそわれて、どんどん山をおりてゆきました。

山の下には野原がひろがっていました。野原にはさくらの花がさいていて、よいかおりがしていました。

一本のさくらの木の根かたに、やさしいおじいさんがいました。子鹿を見るとおじいさんは、さくらをひと枝おって、その小さい角におすびつけてやりました。

「さア、かんざしをあげたから、日のくれないうちに山へお帰り。」  
子鹿はよろこんで山に帰りました。

ぼうやの鹿から話を聞くと、お父さん鹿とお母さん鹿は口をそろえて、

「ぼおんという音はお寺のかねだよ。」

「おまえの角についているのが花だよ。」

「その花がいったいさいていて、きもちのよいにおいのしていたところが、春だったのさ。」

と教えてやりました。

(新美 南吉「里の春、山の春」より)

※かんざし……女の人のかみにさすかざり。ここでは、角のかざりの意味。

月 日

# 小学三年国語 「物語文の読解」③

No. 20

年 組 名前

次のことに注意しながら、もう一度ていねいに文章を読みましょう。

## ポイント

- ★この場面こじかの季節
- ★主人公である子鹿こじかの様子、気持ち
- ★主人公以外の登場人物（お父さん鹿じか、お母さん鹿じか、おじいさん）の役わり
- ★音読のしかた

## ★問題1

——部①「野原にはもう春がきていました」とありますが、そのことがわかる一文を、文章中から書きぬきましょう。

答え

-----
-------

## ★問題2

——部②「ぼおん」（二か所）とありますが、どのように読むのがふさわしいですか。次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましょう。

- ア 少し高めの声で、明るくはずむように読む。
- イ 少し低めの声で、ゆっくり長くひびくように読む。
- ウ せわしない早口で、短く切るように読む。
- エ やっと聞こえるぐらいの小声で、ささやくように読む。

答え

--

/ 2
-----

月 日

# 小学三年国語 「物語文の読解」④

年 組 名前

No. 21

## ☆問題3

部③「びんと耳をたてて」から、子鹿こじかのどのような様子がわかりますか。次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましょう。

ア こわがっている様子。  
イ 注意して聞いている様子。  
ウ おどろいている様子。  
エ なかまに知らせている様子。

答え

## ☆問題4

部④「やさしいおじいさん」とありますが、この場面ではどのようなことからおじいさんのやさしさがわかりますか。次の文の（ ）に当てはまる言葉を、文章中から九字で書きぬきましょう。

子鹿こじかにかんざしをあげて、（ ）山へ帰るようにすすめたこと。

答え


## ☆問題5

この文章には、どのようなことが書かれていましたか。次のア～エの中から正しいもの一つえらび、その記号を書きましょう。

- ア 山のおくにすんでいる鹿しかの親子は、まだ春をじっさいにけいけんしたことがなかった。
- イ おじいさんは、子鹿こじかが春をさがしにきたことを知っていたから、花のかんざしをあげた。
- ウ 春になると、おじいさんがお寺のかねをならして、春がきたことをみんなに知らせる。
- エ 子鹿こじかは、山をおりて野原に行ったことで、花や春がどんなものかを知ることができた。

答え

--

--

## 小学三年国語 「説明文の読解」①

年 組 名前

次の文章を読みましよう。

ウミガメは、陸<sup>りくじょう</sup>上で生活できるように進化してきた、は虫<sup>ちゅうるい</sup>類のなかまです。は虫<sup>ちゅうるい</sup>類はかわいた場所でも、からだの中の水分が外へ出ていかないように、じょうぶなウロコのような「ひふ」でからだをおおっています。たまごも、水中にうむ魚<sup>ぎょるい</sup>類やカエル、イモリといった両生<sup>りょうせい</sup>類のものどちがい、鳥<sup>ちようるい</sup>類のたまごのように「から」につつまれています。たまごの中身がかわかないようにするためです。

【①】海でくらすようになって、陸<sup>りく</sup>での生活のなごりがのこっています。そのため、一生を水の中ですごす魚<sup>ぎょるい</sup>類のように、水にとけこんだ酸<sup>さん</sup>素<sup>そ</sup>をエラからとりこんで呼吸<sup>こそく</sup>することはできません。たまごも同じです。ウミガメのたまごは、からを通して息をしており、水中だと息がでぎずに死んでしまうのです。

② このようなわけで、ウミガメは一生の大部分を海でくらすようになった今でも、たまごだけは陸<sup>りく</sup>にうみに来るのです。

たまごは、太陽の熱<sup>ねつ</sup>であつくなつた砂<sup>すな</sup>によってあたためられます。約<sup>やく</sup>二か月後、うまれた子ガメは、砂<sup>すな</sup>の中でもがきながら上へ向かおうとします。何十<sup>なんじゅう</sup>びきもがいつしよに動きだすため、砂<sup>すな</sup>の天<sup>てん</sup>井<sup>じょう</sup>はしだいにくずれ、子ガメたちは地上へとのぼっていけるのです。

月 日

## 小学三年国語 「説明文の読解」②

No. 23

年 組 名前

子ガメは、数日から一週間かかって地上に出てきますが、砂すなの中にとり  
かれて死んでしまうものもいます。うまく砂すなの中から出た子  
ガメたちは、夜を待って海に向かいます。その様子は、まる  
でゼンマイじかけのおもちゃ。小さなからだにくらべて大き  
なひれ足をバタバタと動かして波打ちぎわまで大いそぎで走  
り、やがて長い旅に出るのです。



しかし、その旅はいのちがけです。うまれたての子ガメを  
食べようと、陸りくではのら犬やキツネ、イタチ、カニが、海ではサメや大きな魚  
がねらっています。カモメ、カツオドリなどの海鳥も空から目を光らせていま  
す。うまく天あまてきからにげることができても、自分で食べものをさがして、生  
きていかなくはなりません。

③ 子ガメのうち、一人前のおとなになるまで生きのこることができるのは、数  
千びきのうち、たった一びきだけだといわれています。

(香原 知志「ウミガメの旅 太平洋二万キロ」より)

※天てき……ある動物にとって、自分をとって食べる動物。

### ポイント

次のことに注意しながら、もう一度ていねいに文章を読みましょう。  
★文章全体は何について書かれているかをとらえましょう。  
★だいたいな言葉……ウミガメ たまご 子ガメ  
★一つ一つの段落の内ようを、短くまとめる(要約する)ために、だ  
いじだと思いう言葉や文に線を引きましょう。



月 日

# 小学三年国語 「説明文の読解」③

No. 24

年 組 名前

## ☆問題1

「 ① 」の中に、第一段落と第二段落をつなぐ説明を、次のように入れるとき、（ ）に当てはまる言葉を、第一段落から七字で書きぬきましょう。

ウミガメは（ ）なので、

答え


## ☆問題2

——部②「このようなわけ」がさしている内よのうち、後に続くだいなことを、次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましよう。

- ア じょうぶなウロコのような「ひふ」でからだをおおわれている。
- イ たまごが鳥類ちようるいのたまごのように「から」につつまれている。
- ウ 水にとけこんだ酸素さんそをエラからとりこんで呼吸こきゅうすることができない。
- エ たまごは、水中だと息がでできずに死んでしまう。

答え

--

## ☆問題3

——部③「子ガメのうち、一人前のおとなになるまで生きのこるることができるのは、数千びきのうち、たった一ぴきだけだといわれています」とありますが、天てきに食べられること以外の理由が書かれている文を二つさがし、それぞれの最初の六字を書きぬきましよう。読点（、）も字数にふくめます。

答え


／ 3

月  
日

小学三年国語 「説明文の読解」④

No. 25

年 組 名前

★問題4

この文章の内容と合うものを、次のア～エの中から一つえらび、その記号を書きましょう。

ア ウミガメはウロコのようなひふをもち、水中では酸素さんそをエラからとりこんでいる。

イ ウミガメは、陸りくでたまごをうむと、子ガメが出てくるまで約やく二か月間たまごをあたためる。

ウ 陸りくでうまれた子ガメたちは、海にもどってからも、いのちがけの旅を続ける。

エ 子ガメの天てきは、おもに陸りくと空にいるので、海の中にもぐっている間は安全である。

答え



/ 1



月 日

# 小学三年国語 「ていねいな文」①

No. 27

年 組 名前

手紙やお知らせの文章を書くときは、相手（読む人）に失礼のないよう、文の終わりを「です」「ます」にそろえます。

次の、アとイの文をくらべてみましょう。

ア 今日は運動会だ。

イ 今日は運動会です。

イのほうが、ていねいですね。

## ポイント

★ていねいな文に直すときに、意味をかえないようにしましょう。  
運動会だった。 ↓ ○運動会でした。 ×運動会です。  
話が始まる。 ↓ ○話が始まります。 ×話が始まりました。

★次のような文に、注意しましょう。  
↓としてくれ。 ↓としてください。  
↓しよう。 ↓しましょう。  
↓ない。 ↓ありません。

## ★問題1

次の文の——部を、ていねいな言い方に直して書きましょう。

① 買い物に行く。

② 買い物に行った。

③ 買い物に行こう。

④ 買い物に行ってくれ。

⑤ おもしろい本だ。

⑥ おもしろい本だった。

⑦ おもしろい本がない。

⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

／ 7

月  
日

# 小学三年国語

## 「ていねいな文」②

No. 28

年 組 名前

### ☆問題2

次の文の——部を、ていねいな言い方に直して書きましよう。

① 多いと思う。

② 開くことにした。

③ いっしょに勉強しよう。

④ おこるわけにもいかない。

⑤ しごとをつづけてくれ。

⑤	④	③	②	①

### ☆問題3

次の文を、——線部に注意して、ていねいな文に書き直しましよう。

① あつい日がつづいているが、ぼくは元気だ。

答え

② しばらく会えないが、たまには電話してくれ。

答え